

第2号

10月現在会員数

# かたつむり21

個人： 67名

法人： 2団体

2001年10月7日 発行

題字 杉野 雅子

## SG後援会「かたつむり21」は今…。

### SG活動への参加

○ SG委員会に3名〔内1名は委員(渉外担当)・2名は非常勤委員(新人担当)〕が参加しサポートしています。(毎週土曜日7時～9時頃、南松商店にて)

○ サマーキャンプには数名が参加し、10・25年ぶりに参加した古参メンバーもいました。昔とった杵柄、さすがと思わせる働きぶり、時の流れを感じさせない活躍でした。OB・OGの「かたつむり21」への入会が実践活動に参加するきっかけになったようです。後方支援部隊にとどまらず、皆さんも気軽に参加してください。

### 事務所開設に向けて

SG活動に新たな息吹を吹き込み、活性化を促すのは、能動的な人材の育成はいうまでもなく、いつでも、だれでも自由に集まれる場です。魅力ある場には人が集まり、活気が生まれ、やる気が出ます、そして、いい結果が残ります。いろいろな人たちが集まってきて、わいわい言いながら気楽に話し合える安らぎの場、それでいて、真剣な議論がされる場、活動を真摯に見つめ直し、新たな活動をスタートさせる場、そのような場(事務所)が一日も早く開設できることを熱望しています。

そして、来春の開設に向けて役員一同色々な情報を集めておりますが、少々悪戦苦闘。お知り合いに空き倉庫・空き部屋をお持ちの方がおられましたらお知らせ下さい。皆様方のさらなるご支援をお願いします。「障害者とともに生きる社会づくり」のために。

ところで、大阪ボランティア協会が来春開設するNPOプラザに申し込んでいますが、競争率が高く厳しい状況です。この会報が届く頃には結果が出ていると思いますが望み薄。

### 秋の行事

11月17日(土)・18日(日)に「かたつむり21」主催の2001年オータムキャンプを実施します。今年は誰でも参加できるオープンキャンプです。ご家族・ご親戚・お知り合いの方(特に、学生さん大歓迎です)に参加をお勧めください。詳しくは、別添の「キャンプのお知らせ」をご覧ください。

### 会員登録と会費納入のお願い

- ・お待たせしました、会員名簿が出来上がりました。誤字脱字があればお知らせください。
- ・登録票を出すのをお忘れの人、「返信用紙の登録票」あるいは「Eメール」でも結構です。送ってください。
- ・会費納入をうっかりお忘れの方、金額を記入した振込用紙を同封しております。うっかり忘れる前に納入してください。お願いします。
- ・ご夫婦で入会いただいても会費は年12,000円です。ご夫婦での入会をお勧めします。

以上 事務局より

## SG後援会「かたつむり21」のお問い合わせ

事務局：高槻市北大樋町15-1-214(松木方)

電話：0726-61-4625

Eメール：matsuki@lyra.vega.or.jp

## 2001サマーキャンプに参加して 林 純子

役に立てればという思いで27年ぶりにキャンプに参加した。しかも、力にはとても自信のない私が「かたつむり21」の一員として、微力ではあるが力を必要とするプロパティ―として参加したのである。キャンパーは中、高校生で、かつて私が体験した高校生キャンプの時と比べると重度化、そして重複（知的発達の遅れもある）しており、プログラムを考える上で苦勞の面がうかがえた。また、お風呂の介助など、まさに時間が限られている中で“力と技”を必要とする場面もあった。

この様なキャンプを長年、サービスグループの息が切れることなく続けてきた現役リーダーの人達に深い感謝の言葉を言いたい。“ありがとう、そしてこれからも頑張っていきましょう。”



## 2001海キャンプの思い出 岩藤 雅紀

琵琶湖のほとりで久しぶり（?じゅうねんぶり）のSGキャンプ。夜はクーラーもあるのにコタエマシタ。歌を歌うたび、移動するたび、食事をするたびに忘れかけていたSGスピリットを少しずつ思い出しては、今年の現役のみみんなの元気に感激していました。

自分がどれだけナマクラになったのか。それでもテーブルマスターの最後の「いただきまーず」が聞きたくて子供たちの笑顔にふれるたび、来てよかったと思いました。

ひとりのSGグループ員としてはまだまだ微力ですが、もう一度がんばりますので宜しくお願いします。



### 会員だより①

#### サンディエゴからお久しぶりです

森 秀樹

2月にアメリカ転勤となり日本では出来なかった趣味の魚つりに月2~3回楽しんでいきます。今回のマグロ釣りは初めての挑戦であり、以前から期待していたもので決して期待を裏切ることはありませんでした。9月11日は日本でも報道されているテロ事件があり、我々のメキシコ工場への通勤もどうかと思っておりましたが、予定を変更することなく無事出航、南下すること8時間…。日本で言うビンナガマグロがメインで、30人の釣り人7時間ほどで126匹。もっとも私の戦果は一匹ですが大満足。最高、エキサイトフィッシング。

魚釣りばかりでなく、日常は朝7時に自宅を出て、国境を越えメキシコ工場へ。約60名のメキシコ人従業員と4名の日本人が働いており、私の担当は工場運営と管理です。通常工場を出て帰宅するのは9時前後。土曜日は半日で、そこから日曜が趣味の時間です。

このような私の家族は結婚20年をむかえる奥さんと、子供2人。長男は今年大学、次男は高校2年で皆日本におります。今回初めての単身赴任。子供が2人とも大学に入れば家内も来る予定ではありますが、今のところは単身。85kgの体重が90kgを超えると離婚といわれておりますので体重コントロールには気をつけている今日この頃です。

## 会員だより② ぜひ、シアトルにお越してください

塩野 恵子

シアトルに来てずいぶん月日が経ちました。ここは今まで訪れる人が余りなかったのですが、シアトルマリナーズの本拠地があり、今年はイチロー、佐々木の活躍により日本やアメリカ各地からの観光客でにぎわった町になりました。ここシアトルはアメリカでも上位に挙げられる有数の障害者に優しい街です。どの建物に入るにも不便を感じたことは一回もありません。

レストランには勿論、車イスのトイレが常設されています。どの駐車場にも障害者専用があり、ステッカーを持っていない車が使用すると高額の罰金が課せられます。森、海、湖、山に囲まれた街で湿度の低い熱帯夜のない青空の広がる快適な夏に機会があればお越してください。

## サービスグループの現状

委員長 中間 秀行

こんにちは！いつもサービスグループの活動に対してご支援いただき有難うございます。今日は、グループの活動状況と現在抱えている課題について、報告させていただきます。

今年も無事にキャンプを終えることができ、かたつむり21の方々にも数名参加していただきました。4、5年前まで何とか2キャンプを続けていたのですが、ここ数年1つキャンプを実施するのが精一杯になってしまいました。その理由の一つは、活動できるグループ員の不足、今一つは、キャンパー募集のための名簿入手が困難になったためです。

キャンプ場は大阪市のびわこ青少年の家で、水泳のプログラムを中心に行いました。就寝、食事等は室内で行っています。キャンパーは20名程度でほとんどが車椅子を使用し、コミュニケーションのむずかしいメンバーも多いです。その為、カウンセラーもマンツーマン以上の要員で行っています。できれば、能勢や朽木のようなところでキャンプをしたいのですが、なかなかむずかしいのが現状です。

次に、ジュニア活動ですが、これは光陽養護学校の中・高校生を対象に登録制で行っています。社会人のメンバーが多いので、土曜日のクラブ的な活動ではなく、年に数回の遠足とクリスマス会が中心です。登録ジュニアメンバーは

約20人で、遠足は10人程度の参加で、最近では南港のWTC・須磨水族園等に行きました。また、今年も10月に遠足、12月にクリスマス会を行う予定です。

もう一つの活動に「ハッピーフレンズ」があります。これは、過去のキャンパーの強い要望でキャンパー自身が自主的に運営する活動で、サービスグループとは別に独立団体を組織し、グループが支援しようと、10年程前から行っています。活動としては、年に1度遠足等行っており、今年は舞州で一泊お泊まり会をしました。

これらが現在グループが行っている主な活動です。そんな中で委員会の抱える課題としては、やはり委員会メンバーがここ数年同じで、それも社会人ばかりであり、活動が減少してきていることです。勿論、学生や20才前後のメンバーもいるのですが、なかなか委員会に入って企画運営するとなると難しいようです。しかし、やはり活動を活性化させるのは、活動に来ている学生等のメンバーの中で委員会を構成する必要があり、現委員会もキャンプが終わってホッとするのはなく課題として取り組まないといけません。

そんな私達に資金面・拠点づくり等をして下さる『かたつむり21』の存在は、とてもありがたいと思います。出来れば、活動や委員会ものぞいてみて下さい。今後共よろしくおねがいします。

## 能勢 AUTUMN CAMP のお知らせ

林 隆夫

「かたつむり21」ではこの秋（11月17日（土）～18日（日））にキャンプを行います。昨年も能勢でSG創立35周年記念の能勢アニバーサリーキャンプを行いました。今年のキャンプは、多くの方々に少しでもSG、かたつむり21の活動を知ってもらうために行きます。

SGが目指す「肢体不自由児と共に歩む」というテーマをいろいろな方と色々な角度から話し合えればと思っています。どなたでも参加OKです。親しい友達、奥さん、旦那さん、子供さん、お母さん、お父さん、に呼びかけて是非一緒に参加してください。場所はSGキャンプ発祥の地「ダイヘンキャンプ場（電気、水道、プロパンが完備）」を借り切り行きます。

キャンプ長：石谷英治（現役公務員さん） PD：松井(岡本)加奈子（名張在住のバリバリ主婦）  
PC：松木彰造（ご存知の進学塾の塾長さん） SubPC：岩藤雅紀（ガンちゃん パソコン大好き人間）  
BM（会計）：本多勝久（やさしい会社の社長さん） 食料調達係：西山(岡井)進見（氷上郡の大地主）  
食堂：清石(松尾)和子（人形劇団「なんじゃもんじゃ」世話人）

杉野(片山)雅子（会報の題字を書いた方）林(西川)純子（肢体不自由児通園施設看護婦さん）  
ナイトミーティング進行係：原口和博（会社では管理部長、キャンプでは宴会部長）  
スーパーバイザー：黒川芳朝（みんなが知っている元大阪府庁公務員さん）

添付「能勢AUTUMN CAMPのお知らせ」を良く読んで、すぐに応募してください。



ちょっといわせてもらいまっせ

『やっぱり大阪はいいですよ』

黒川 芳朝(かたつむり21会長)

5年間香港に駐在していた私の知人がこの春帰国し、会社の都合で東京に居を構えました。長男に軽い情緒障害があり、香港の日本人学校では普通学級に籍を置きながら、主に国語と算数の時間（週10時間程）は養護学級に通っていたようです。

東京では養護学級のある小学校に編入したのですが、最初から養護学級に入れられ、普通のクラスとは全く隔離されたとのこと。教育委員会に苦情を言い、だめなら養護学級のない小学校に転校させてほしいと掛け合っても「障害児は養護学校。軽度の子どもは養護学級。普通学級との交流は学級設置の趣旨に反する」と頑迷に拒否されたようです。しかも知人が住んでいるのは、小学校を自由に選べる品川区です。

どこかおかしいと思いませんか。障害を持つ

子供の将来の可能性を引き出すためには、学習機会の選択幅はできるだけ多い方がいい。学校管理の発想ではなく、子どもにとって何が大切かを尺度とすべきです。現在の大阪では、こんなことは考えられません。保護者と学校とが話し合って、最も適した方法を選択するからです。

ちなみに、知人には、禁じ手の〃区議員を動かす〃ことをアドバイスしたら、無事、転校でき、皆と一緒に学んでいるそうです。いずれにしてもおかしな話でした。

### 編集後記:

同じように今すぐ動けない人でも、SGに対するNeedsを把握し、機会があれば何らかの形で（情報の提供、資金面、スポットでも1ボランティアとして現役の目で活動補助として役に立てば）等々考えておられる方々、離れていても、キャッチボールを投げあいましょう。広報委員長が少し音を上げるぐらい。 （本多）